

カ協 だより4

APRIL 2018

ONAGAWA

卒業のはなむけに
絵本で伝える
子どもたちへのメッセージ



女川小学校で絵本の読み聞かせのボランティア活動を長年行っている「おはなし会おひさま」。毎年3月に卒業を控えた小学校六年生の児童に向けた特別な読み聞かせの会「はなむけの会」を行っています。

プロジェクターで絵本を大画面に投影して、読み上げるストーリーに沿ったBGMもつけて。

メンバーの大人たちはこの日のために仕事の合間を見つけて絵本や音楽を選び、リハーサルを重ねて、お祝いとはなむけのメッセージを絵本で伝えるのです。

今年の絵本はアメリカの作家ウィリアム・スタイグ作、瀬田貞二訳の「ねずみとくじら」。ねずみのエーモスとくじらのボリスの友情の物語です。

大人への階段を上ろうとしている子どもたちがこれから歩む人生は、おだやかな時もあれば荒波にもまれることもあるでしょう。喜びや悲しみをわかちあえる友だちを大切にしてほしい、誰かにとってそんな温かな存在になってほしい、というメッセージは子どもたちの心にきっと響いたことでしょう。



ご存知ですか？

女川町社会福祉協議会のこと

社会福祉協議会は「役場」と同じなの？！

よく、社協職員がご家庭を訪問すると「役場の人が来たよ！」なんて言われることがあります。社協と役場が同じ組織と思われる方も少なくないでしょう。

社会福祉協議会（＝以下、社協という）とは、社会福祉法に基づき、全国、都道府県、市町村及び地域単位に設置されており、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくり」を目指し活動している民間組織であって、**役場とは違い、働く職員も公務員ではありません。**

社協は、様々な問題や社会環境の変化により起こる課題に対応し、個別支援や地域支援を通して、住民皆様が中心となって共に支え合える仕組みづくりを進めるためのお手伝いをさせていただきます。

社協の財源はどこから来るの？

社協は、民間組織と言っても、『社会福祉法人』という法人格を持っています。社会福祉法人は、社会福祉事業のほか、公益事業（例：介護保険による居宅サービス事業などの収入など）及び収益事業を行うことができます。これらの使途については、定めがあり、収益事業の収入は公益事業に充てることができます。

また、社協が様々な事業を行う際の主な財源は、皆様から頂戴する会費となっており、皆さんは社協会員となります。地域で暮らす皆さんが、「生活者」として自分の町をより良くするために、各自の役割を果たすことで全体に貢献するいわば「メンバーシップ」という捉え方です。だからこそ、社協は住民皆様の主体性を大切に、『地域福祉』を進めています。

「会費」への御理解を…。

皆様ご自身が「地域」をより良くしていくために、社協会費へのご協力をお願いします。

《会員の種類》 一般会員 年1,200円 賛助会員 年5,000円 特別会員 年10,000円

社協は「福祉のプロ集団」です！

何かお困り事がございましたら、お気軽にご相談ください。

【事務所のご案内】 地域福祉センター 1 階（地域医療センター向かい）

TEL：0225-53-4333



ボランティアセンター だより4月号

ボランティアについての
問い合わせはこちらまで
☎53-4333
(担当…矢竹)

ボランティア入門講座を行いました

2月21日(水)～22日(木) ボランティアの入門講座を行いました。総勢21名の多様な受講者に恵まれ、「ボランティアとは何か」という定義に始まり、ボランティアに必要な技術も学んでいただきました。

今年度も実施を予定していますので、ぜひ参加をご検討下さい。7つの入門プログラムを紹介します。

①ボランティアの歴史と定義

ボランティアの語源と定義を紐解き、「無償で活動するのがボランティア」という一般的な理解を超えて、社会の状況・課題・ニーズを知り、考えて行動するボランティアの心構えを学んでいただきました。

②傾聴入門

傾聴とは「耳を傾けて熱心に聴くこと」です。心がまえから、姿勢や相手との距離、具体的な話術等、相手との信頼関係を結び、普段の暮らしにも役立つ傾聴を学んでいただきました。

傾聴することで、悩んでいる人・困っている人の気持ちが楽になれば、それだけでも十分に社会を良くする活動なのです。

③支え合いゲームの体験

普段の自分とは違う立場を演じながら、人を助けたり、助けられたりする「支え合い」をゲームで疑似体験することで、ボランティアや身近な支え合いが、多様な人々の暮らしやすさに繋がることを意識していただきました。



歴史と定義を知る

④町内で行われているボランティア活動を知る

東日本大震災における災害ボランティアの活動と、現在町内各所で行われている町民によるボランティア活動の実践を紹介しました。具体的な活動を知ること、ボランティアをより身近に感じていただきました。

⑤活動を体験する

女川みらい創造が毎月22日に実施している駅前～商店街周辺の清掃活動に参加していただきました。

活動体験ながら、駅前の環境美化に実際に貢献することが出来ました。



清掃活動体験

また車椅子利用者には、車椅子利用者による清掃活動の可能性を探るモニターになっていただきました。

⑥レクリエーション入門

お茶会やイベント等の集いの場を盛り上げ、人と人を繋げる技術として、レクリエーションを学んでいただきました。

レクリエーションの虎の巻「誰でもかんたんレクリエーション」と町内でもっとも盛んなシニアスポーツ「ペタンク」を体験していただきました。

⑦災害ボランティアセンター運営訓練

ボランティア希望者・受付窓口・活動の幹旋・機材の受け渡し係・被災者という5つの役割を演じていただき、災害ボランティアセンターのおおまかな仕組みと、運営者・ボランティア・被災者という立場の違いを理解いただきました。



災害ボランティアセンター運営訓練

子供と遊ぶ・遊びを教える ボランティア大募集

きらら女川シーパルピア店でやっている女川版子ども食堂「おらほの女川食堂」や子ども向けの放課後教室で遊び相手になったり、遊びを教えてくれるボランティアを募集しています。

地域住民で子どもたちを育む取り組みにぜひ皆さんが持っている得意技・趣味を活かしてみませんか。お気軽にお問合せ下さい！



うみねこ園だより

思い思いのものを食す！



うみねこ園では、利用者さんたちが作成した新聞バッグに対し、梅丸新聞店さんのご協力によりアトム通貨を頂戴しています。それに地域の方々からうみねこ園に寄せていただいたアトム通貨を合わせ、今年もアトム通貨による地域交流を行うことが出来ました。

今回はシーパルピア女川にある「きらら女川」さんでのお食事会。いつもとは違う場所で、何より自分達がお仕事をして得た通貨での食事に、満足そうな表情を浮かべていた利用者さんたちでした。

来年も開催できるようにまた頑張りましょうね！
ご協力いただいたみなさんありがとうございました。

選手団、入場！



うみねこ、平和の祭典！

2月、韓国の平昌にて数々の手に汗握る試合が行われましたが、同じ時期うみねこ園でもそれに負けない熱い戦いが繰り広げられました。その名も「ウミリンピック」！

2週間の期間中、毎日「ホッケー」「野球」「バスケットボール」などの競技が行われ、上位3人にはチョコレートで出来たメダルが授与されました。このメダルを巡っての熱い戦いでは、悔しげな顔、誇らしげな顔など、普段の活動では見ることの出来ない表情を見ることが出来ました。

次の大会は4年後？2年後？それとも1年後？いつになるかはわかりませんが、そのときにも今回に負けない熱戦を見せてくださいね！



見よ、この表彰台！



うれしいひなまつり

3月2日は1日早いひな祭りイベントを行いました。当日は、いつもかかわってくださるボランティアの小豆畑さんに来てもらい、うみねこ園ではもはやおなじみとなった大正琴の演奏会を開催していただきました。

「春よ来い」などの春の曲、そして利用者さんたちの大好きな「北国の春」などの歌謡曲を小豆畑さんに演奏してもらい、それに合わせ気持ち良さそうに歌う利用者さんたち。そして、最後の曲は「うれしいひなまつり」。この曲に合わせてボランティアさんに教わった踊りを披露し、楽しい演奏会を締めくくりました。



知っていますか?! 「世界自閉症啓発デー」

国連総会において、カタル王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。

日本でも、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が組織され、自閉症をはじめとする発達障害について、広く啓発する活動を行っています。

具体的には、毎年、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンポジウムの開催やランドマークのブルーライトアップ等の活動を行っています。

なぜ、『ブルー』なの?!

ブルーは癒しや希望などを表す色です。世界自閉症啓発デー日本実行委員会は、青(ブルー)を自閉症や発達障害を理解していただくためのシンボルカラーとして使用しています。

「自閉症」を知っていますか?!

自閉症をはじめとする発達障害について知っていただくこと、理解をしていただくことは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えております。

石巻でも『ライト・イット・アップ・ブルー in 石巻』が開催されます。

4月2日～8日 石ノ森萬画館のライトアップや
アートワークショップ&作品展示が行われます。

この機会に、みなさまのご理解とご支援をお願いいたします。



救急医療情報キットご利用の皆様へ

社協では、平成25年1月より65歳以上のひとりぐらし・ふたりぐらしの方並びにひとりぐらしの障がい者の方々を対象に、常時冷蔵庫に保管し、救急時に必要な情報を提供する「救急医療情報キット」を希望により配布しておりますが、服用しているお薬や、住所・緊急連絡先等に変更がありましたら更新が必要です。

なお、更新に伴い新たな様式が必要な場合は社協事務局にございます。

また、情報キットを新規に希望される方にもお渡しいたしますので御連絡ください。

社協事務局 ☎53-4333

ゆぼっば健康講話『何でも健康相談会』

日 時 4月17日(火) 16:00～17:00 場 所 ゆぼっば2階休憩室

毎月第3火曜日は、女川町地域医療センター医師が健康に関する相談に応じます。

当日は、健康相談会にお越しいただいた方は、入浴料500円→250円とお得に入浴できます。
みなさん、ぜひお誘いあわせのうえお越しください。

女川温泉ゆぼっば TEL.0225-50-2683 (営業時間: 9:00～21:00)

※町民バス回数券フロントにて好評発売中!

皆様の善意に感謝申し上げます

(2月11日～3月10日受付分)

寄附金 (敬称略)

単位: 円

町内設置の自動販売機販売手数料を寄付いただきました。

行政区	氏 名	金 額
	女川町グラウンドゴルフ協会	10,000
東京都	株式会社 ブ リ ッ ジ	25,000

氏 名	金 額
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社	21,922
株式会社 伊 藤 園	1,350

女川町 地域活動支援センター うみねこ園で 一緒に活動しませんか ～利用者募集～

女川町地域活動支援センター「うみねこ園」(以下、『うみねこ園』という。)は、障害者又は障害児に対し、通所により創作的活動又は生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流を促進させることによって、地域における障害者等の自立の促進と社会参加を図ることを目的とし運営しています。

サービス内容

- ・対 象 者: 身体障害・知的障害・精神障害
- ・営 業 日: 月～金
(祝祭日及び12/29～1/3は休業)
- ・営業時間: ①地域活動支援センター 9時～16時
②日中一時支援 9時～18時
(児童放課後支援含む)
- ・利用定員: ①地域活動支援センター 14名
②日中一時支援 5名
- ・対象地域: 女川町
- ・送 迎: ①地域活動支援センター あり
②日中一時支援 要相談
- ・食事の提供: なし

活動紹介

販売活動 (ポリ袋)

うみねこ園では、町内事業所のご協力をいただきポリ袋を販売しています。

様々な活動

サクラの下でハイチーズ!
(昨年のお花見の様子)

年間行事

四季折々の園内・園外行事があります。

4月 お花見

5月 ミニ運動会

6月 クッキング

7月 セタ会

8月 ミニミニ夏祭り

9月 芋煮会

10月 芸術の秋

11月 クッキング

12月 クリスマス会

1月 新年を祝う会

2月 節分

3月 ひな祭り会

一人ひとりの笑顔を大切に、利用される方が活動しやすいように個々に合ったメニューを提供します。少人数ですが、いつも明るい笑顔があふれるうみねこ園に、ぜひ遊びにお越しください。

【問合先】うみねこ園 54-4028

4月の介護予防「地域遊びリレーション・ふまねっと」

実施内容については 地域遊びリレーション ☐ ・ふまねっと ☒ となります。

地 区	日 時	地 区	日 時	地 区	日 時
大 沢	9日 13:30	上 四	9日 13:30	石 浜	2日 9:30
浦 宿 一	お休み	上 五	2日 13:30	大 原 南	17日 9:30
浦 宿 二	お休み	西 二	24日 13:30	女 川 南	23日 9:30
浦 宿 三	お休み	運動公園住宅	5日 9:30	女 川 北	10日 9:30
針 浜	16日 13:30	日 蕨	お休み		
旭 が 丘	19日 9:30	小 乗	9日 9:30		
上 三	25日 13:30	宮 ヶ 崎	16日 9:30		